

## 日本産中～大型種クワガタムシの飼育レコード個体（2022年度版）

※太字（+網掛け）は記録が更新されたもの

単位：mm

種名	飼育レコード	飼育評価	飼育レコード保持者	予想最大体長	登録年	飼育者数	野外レコード	野外レコード保持者
ミヤマ	78.9	☆☆☆☆	KEINA	82	2022	A	78.6	水沼哲郎
イズミヤマ	68.7	☆☆☆☆	熊田貴志	75	2015	C	70.0	鳥羽明彦
アマミミヤマ	56.2	☆☆☆☆	上亟健介	59	2015	C	51.0	柗田誠一郎
ミクラミヤマ	38.9	☆☆☆☆	花房高志	40	2020	C	34.7	成川候彦
オニ	27.0	☆☆☆☆	市村尊士	29	2017	C	27.2	長島正典
キュウシュウオニ	—	—	—	29	—	—	26.1	三好正洋
ヤクシマオニ	27.1	☆☆☆☆	川上洋明	29	2005	C	27.7	塚本隆士
キンオニ	40.7	☆☆☆☆	こちろ	42	2020	C	38.8	定木良介
チャイロマルバネ	36.0	☆☆☆☆	里由一	38	2014	C	36.6	金田吉高
アマミマルバネ	69.9	☆☆☆☆	高島賢造	71	2020	C	65.9	首藤健之
オキナワマルバネ	73.2	☆☆☆☆	高島賢造	75	2017	B	70.0	村松稔
ヤエヤママルバネ	68.4	☆☆☆☆	里由一	73	2016	B	69.2	小林修司
ヨナグニマルバネ	65.0	☆☆☆☆	里由一	68	2011	C	62.7	定木良介
ノコギリ	76.8	☆☆☆☆	里由一	82	2015	A	77.0	藤野圭
ミヤケノコギリ	68.4	☆☆☆☆	サマ子	76	2020	C	69.4	田中裕二
ヤクシマノコギリ	70.0	☆☆☆☆	荒井信義	76	2017	C	69.3	田中裕二
ミシマイオウノコギリ	73.8	☆☆☆☆	坂本栄一	78	2003	C	69.3	田中裕二
クロシマノコギリ	74.0	☆☆☆☆	里由一	78	2011	C	72.0	山本有
クチノエラブノコギリ	74.0	☆☆☆☆	里由一	79	2015	C	72.5	土屋利行
ハチジョウノコギリ	60.7	☆☆☆☆	里由一	66	2017	B	59.2	菊池淳
トカラノコギリ	76.6	☆☆☆☆	小笠原准	81	2005	A	74.2	藤田宏
アマミノコギリ	82.1	☆☆☆☆	里由一	85	2017	A	80.5	藤本憲
トクノシマノコギリ	74.6	☆☆☆☆	浅野昇	82	2016	C	76.2	林辰彦
オキノエラブノコギリ	69.0	☆☆☆☆	遠藤富美雄	74	2006	B	64.5	田中裕二
オキナワノコギリ	75.1	☆☆☆☆	里由一	79	2007	B	71.7	小橋川共也
クメジマノコギリ	65.9	☆☆☆☆	加藤卓宏	70	2001	C	64.4	藤本憲
イハヤノコギリ	64.3	☆☆☆☆	三輪忠生	69	2013	C	59.6	林辰彦
ヤエヤマノコギリ	63.3	☆☆☆☆	里由一	68	2008	C	63.5	花谷達郎
ネプト	33.6	☆☆☆☆	むし社	37	2014	C	33.8	矢倉良太
ハチジョウネプト	30.2	☆☆☆☆	浅井章博	35	2002	C	28.0	菊池淳
ナカノシマネプト	26.9	☆☆☆☆	浅井章博	29	2008	C	23.0	
ガジャマネプト	33.0	☆☆☆☆	浅井章博	38	2001	C	—	
トカラネプト	30.8	☆☆☆☆	浅井章博	35	2004	C	29.1	吉田賢治
アマミネプト	37.0	☆☆☆☆	高島賢造	40	2006	C	36.3	定木良介
オキノエラブネプト	36.3	☆☆☆☆	浅井章博	40	2001	C	34.0	鈴木賢紀
オキナワネプト	29.0	☆☆☆☆	浅井章博	32	2004	C	26.4	小島裕成

種名	飼育レコード	飼育評価	飼育レコード保持者	予想最大体長	登録年	飼育者数	野外レコード	野外レコード保持者
イハヤネプト	26.6	☆☆☆☆	浅井章博	30	2004	C	24.0	
ヤエヤマネプト	32.8	☆☆☆☆	浅井章博	37	2004	C	33.0	花谷達郎
ヨナグニネプト	32.0	☆☆☆☆	チームむし社	37	2020	C	30.8	細口政嗣
オガサワラネプト	28.7	☆☆☆☆	浅井章博	32	2001	C	26.0	
チチジマネプト	28.0	☆☆☆☆	浅井章博	32	2002	C	24.0	
アマミシカ	56.0	☆☆☆☆	安部浩平	59	2009	B	48.0	田中裕二
アマミコクワ	40.8	☆☆☆☆	中矢賢一	46	2009	B	37.8	高都持祐輔
トクノシマコクワ	41.5	☆☆☆☆	金澤稔	46	2005	B	38.0	松島孝
リュウキュウコクワ	39.2	☆☆☆☆	金澤稔	44	2007	B	36.3	吉田直人
ヤエヤマコクワ	43.4	☆☆☆☆	ちゃま	46	2015	C	38.0	小林修司
コクワ	58.1	☆☆☆☆	のり5554	61	2016	A	54.4	岡部哲
ハチジョウコクワ	51.2	☆☆☆☆	馬場 勝	60	2004	B	49.0	小野裕
ヤクシマコクワ	54.2	☆☆☆☆	ゲン・ジュウミン	61	2014	C	53.6	土屋利行
ミシマコクワ	52.3	☆☆☆☆	植葉貴裕	60	2022	C	49.4	
トカラコクワ	53.6	☆☆☆☆	坂本栄一	60	2005	B	50.7	土屋利行
スジ	39.2	☆☆☆☆	大東広英	44	2013	C	40.0	前原一輝
ヤクシマスジ	40.2	☆☆☆☆	森 勇介	45	2022	C	40.5	土屋利行
ヒメオオ	54.7	☆☆☆☆	大川将儀	64	2019	C	58.0	吉田賢治
キュウシュウヒメオオ	50.8	☆☆☆☆	三好政洋	58	2004	C	52.0	廣川典範
アカアシ	61.7	☆☆☆☆	ハル	64	2017	C	58.5	吉田賢治
ヒラタ	90.0	☆☆☆☆	山口ウガタ	92	2020	S	77.6	松尾良一
ハチジョウヒラタ	73.0	☆☆☆☆	T.A	76	2015	B	60.3	菊池淳
ツシマヒラタ	87.4	☆☆☆☆	中川元喜	93	2015	A	84.0	松尾良一
ゴトウヒラタ	82.0	☆☆☆☆	今岡 司	93	2020	C	78.5	川原 洋
イキヒラタ	82.6	☆☆☆☆	鈴木郁男	93	2015	C	81.6	松尾良一
タカラヒラタ	75.0	☆☆☆☆	白土裕之	82	2006	B	70.1	定木良介
アマミヒラタ	80.2	☆☆☆☆	池田昇司	85	2009	B	75.0	有馬 剛
トクノシマヒラタ	79.5	☆☆☆☆	里由一	88	2006	C	78.6	水沼哲郎
オキノエラブヒラタ	70.1	☆☆☆☆	佐藤 陽	75	2010	B	67.6	塚本隆士
オキナワヒラタ	76.3	☆☆☆☆	光田数一	81	2020	B	71.5	松島孝
サキシマヒラタ	84.2	☆☆☆☆	石川啓介	90	2002	A	79.1	吉田賢治
ダイトウヒラタ	65.0	☆☆☆☆	羽田達巳	67	2005	B	53.5	松下泰平
スジプトヒラタ	74.6	☆☆☆☆	3464	76	2021	A	70.1	原島真二
チョウセンヒラタ	59.0	☆☆☆☆	わたくわ	61	2022	C	53.9	塚脇智成
オオ	93.2	☆☆☆☆	奈良憲成	93	2022	SS	76.6	鈴木良廣
ヤマトサビ	28.3	☆☆☆☆	こちろ	30	2022	C	26.2	細口政嗣

☆の数が多いほど評価が高くなります。

飼育者数 SS、S、A、B、Cの順番で飼育者数が多い。SS：日本産オオクワガタのみ。S：かなりの数の飼育者が継続して飼育していると思われる種類。A：半数以上の飼育者が一度は手を出したことがありそうな種類。B：半数以下の飼育者が一度は飼育経験がありそうな種類。C：かぎられた数の飼育者しか飼育したことがなさそうな種類。

# 外国産クワガタムシの飼育レコード個体 (2022年度版)

※太字(十網掛け)は記録が更新されたもの  
単位: mm

種名	飼育レコード	飼育評価	保持者	野外レコード	予想最大体長	登録年	飼育者数
ホソアカクワガタ							
アッサム	40.0	☆☆☆	門馬大樹	33.0	42	2020	C
アラガール	67.5	☆☆☆☆	竹辺伸	74.0	77	2022	B
インゴニトウス	45.4	☆☆☆☆	石塚利行	46.1	51	2015	C
インペラートル	83.2	☆☆☆☆	黒田 功	94.0	97	2019	B
エシミアウス	63.6	☆☆☆☆	上野浩樹	67.0	68	2007	C
エラス	97.5	☆☆☆☆	中川元喜	109.0	112	2013	B
カウブ	55.3	☆☆☆☆	澤太郎	55.0	58	2007	C
カナクワトウス	57.9	☆☆☆☆	JUN	57.0	60	2019	C
カナクワトウス (原名亜種)	54.3	☆☆☆☆	石塚利行	56.2	62	2015	C
カナクワトウス (南ボルネオ)	56.5	☆☆☆☆	石塚利行	46.4	57	2014	C
キラファ	63.5	☆☆☆☆	高木将吾	78.5	83	2012	C
クブレオニテンス	58.4	☆☆☆☆	竹辺伸	69.5	73	2022	C
スクテラリス	42.7	☆☆☆	中矢賢一	45.0	48	2007	C
スズムラ	44.5	☆☆☆☆	中矢賢一	40.7	47	2009	C
スプレンドイドゥス	73.6	☆☆☆	中矢賢一	89.4	95	2008	C
スベール	64.3	☆☆☆	中矢賢一	73.0	76	2009	C
スベキオス(マライタ)	64.2	☆☆☆☆	野崎健一	59.5	65	2014	C
タラントゥス	64.2	☆☆☆	中矢賢一	71.0	77	2006	C
チュウ	82.0	☆☆☆☆	村上真一	87.0	92	2022	C
デハーン	50.9	☆☆☆☆	野原悠希	50.1	55	2022	C
トサカ (台湾)	61.7	☆☆☆☆	誠道	56.0	59	2014	C
トルンカートゥス	73.6	☆☆☆☆	はむたろう	82.2	90	2014	B
バイシライヒ	57.4	☆☆☆☆	楡松道也	55.0	62	2009	C
バスター	54.4	☆☆☆☆	JUN	58.8	63	2019	C
パン	45.6	☆☆☆☆	中矢賢一	43.0	47	2005	C
パンルー	42.4	☆☆☆☆	金澤 稔	41.0	43	2009	C
ピコロール	38.4	☆☆☆☆	後藤利亮	35.2	42	2021	C
ブルケルス	50.3	☆☆☆☆	中矢賢一	55.9	62	2006	C
マーチン (ボルネオ北部)	42.2	☆☆☆	石嶺公教	43.6	49	2006	C
ムルティンタトウス	42.5	☆☆☆	金澤 稔	44.0	46	2013	C
メタリフェル (アエノミカンス)	83.3	☆☆☆☆	岡 将司	78.4	92	2022	C
メタリフェル (サンギール)	89.1	☆☆☆☆	ガリバー	82.0	95	2008	C
メタリフェル (スー諸島)	81.9	☆☆☆☆	中矢賢一	77.0	92	2006	C
メタリフェル (ベレン)	95.8	☆☆☆☆	山本耕司	100.0	103	2004	A
メタリフェル (モロタイ)	83.0	☆☆☆☆	中矢賢一	79.0	95	2007	C
メタリフェル (原名亜種)	88.5	☆☆☆	遠藤富美雄	100.0	105	2002	A
モンロン	87.8	☆☆☆☆	村上真一	90.2	95	2019	C
モンタネルス (原名亜種)	76.2	☆☆☆☆	高木将吾	79.0	85	2012	C
ルニフェル	55.2	☆☆☆☆	JUN	53.3	56	2019	C
ノコギリクワガタ							
アスタコイデス (dubernardi)	67.2	☆☆☆☆	池田俊景	66.6	73	2022	C
アスタコイデス (fraternus)	69.0	☆☆☆☆	鶴岡賢吾	68.3	75	2016	C
アスタコイデス (karubei)	70.2	☆☆☆☆	J-KUWA	62.4	75	2022	C
アスタコイデス (reni)	68.7	☆☆☆☆	斉藤貴宏	61.1	74	2020	C
アスタコイデス (スマトラ・ジャワ)	72.7	☆☆☆☆	坂井 俊	74.0	79	2022	C
アスタコイデス (マレー)	82.4	☆☆☆☆	金森 崇	90.0	94	2017	C
アスタコイデス (台湾・中国)	70.3	☆☆☆☆	高崇文	67.7	74	2017	C
アンティロプス (原名亜種)	49.1	☆☆☆	片岡慶公	47.0	55	2006	C
イジ	40.4	☆☆☆☆	松本浩太	38.1	42	2019	C
イソガイ	31.7	☆☆☆	猪飼貴夫	29.5	38	2019	C
ウオレス	79.3	☆☆☆☆	猪飼貴夫	75.9	84	2022	B
ウムラング	70.8	☆☆☆☆	上原純一	70.7	76	2011	B
エリザサス	70.4	☆☆☆☆	はるちゃん	66.1	73	2011	B
オキピタリス (astericus)	55.5	☆☆☆☆	車野 敏	46.1	62	2007	B
オキピタリス (hideoi)	50.7	☆☆☆☆	金澤 稔	41.6	57	2011	C
オキピタリス (原名亜種)	57.0	☆☆☆☆	藤川大輔	55.1	62	2021	B
ガートルード	67.0	☆☆☆☆	富岡真澄	61.7	72	2011	B
ガートルード	67.0	☆☆☆☆	村岡立矢	61.7	72	2011	B
カスタネウス (kachinensis)	67.9	☆☆☆☆	光田敦一	64.6	72	2022	C
カスタネウス (原名亜種)	63.6	☆☆☆☆	門馬大樹	61.0	70	2019	C
カンネギエテル	46.2	☆☆☆☆	鈴木芳仁	44.4	51	2010	C
キラファ (ケイスケ)	122.0	☆☆☆☆	本間隆行	121.0	125	2022	A
キラファ (サンギール)	101.0	☆☆☆☆	安部浩平	104.0	110	2007	C
キラファ (ダイスケ)	119.4	☆☆☆☆	佐藤 敏	114.0	122	2009	B
キラファ (ティモール)	99.9	☆☆☆☆	松田健治	94.0	100	2016	C
キラファ (ニルギリ)	106.4	☆☆☆☆	三浦 涼	106.6	112	2012	C
キラファ (ポロブドゥ)	100.5	☆☆☆☆	湯川慧士	103.0	110	2016	C
キラファ (マキタ)	110.1	☆☆☆☆	石塚利行	111.0	118	2005	C
キラファ (原名亜種)	110.8	☆☆☆☆	伝	108.0	113	2018	C
コルボアラ	81.4	☆☆☆☆	鏡形屋七兵衛	85.0	88	2013	C
コフキウス	106.9	☆☆☆☆	遠藤富美雄	113.0	117	2005	C
サヴェッジ	65.4	☆☆☆☆	高山政希	65.0	70	2022	B
ジェンキンス (スキット)	42.3	☆☆☆☆	猪飼貴夫	42.5	47	2017	C
ジェンキンス (南ベトナム)	42.4	☆☆☆☆	松本龍也	36.4	45	2013	C
ジュリエット	50.9	☆☆☆☆	江ノ畑直人	46.5	55	2016	C
スクアミラテリス (ボルネオ)	35.7	☆☆☆☆	金澤 稔	31.0	38	2012	C
スツリス	46.3	☆☆☆	松本浩太	47.0	50	2021	C
スピネウス	55.0	☆☆☆☆	山村昇市	61.2	65	2011	C

種名	飼育レコード	飼育評価	保持者	野外レコード	予想最大体長	登録年	飼育者数
スベキオス	44.5	☆☆☆☆	橋本 剛	43.5	49	2011	C
スベクタピリス	53.2	☆☆☆☆	猪飼貴夫	49.4	60	2016	C
スンバウ	45.2	☆☆☆☆	松本浩太	35.9	48	2016	C
セネガル	50.5	☆☆☆☆	鄭宇昇	48.5	55	2020	C
ゼブラ (ジャワ)	56.0	☆☆☆☆	岩山秀朗	53.9	60	2005	B
ゼブラ (ルソン)	64.5	☆☆☆☆	石塚利行	60.2	70	2007	B
ゼブラ (原名亜種)	57.4	☆☆☆	齊藤ブラス	54.2	63	2015	C
タカサゴ	69.4	☆☆☆☆	沈志穎	62.0	72	2022	C
ティグリス	31.9	☆☆☆	金澤 稔	27.5	36	2011	C
デキヒエンス	70.2	☆☆☆☆	JUN	72.5	73	2021	C
ドゥースブルグ (原名亜種)	73.0	☆☆☆☆	古口翔也	76.0	77	2012	C
トラグルス (assimilis)	71.3	☆☆☆☆	猪飼貴夫	68.0	74	2011	C
トラグルス (原名亜種)	65.5	☆☆☆☆	中矢賢一	59.3	70	2005	C
ドリス	41.9	☆☆☆☆	金澤 稔	38.0	45	2012	C
ドリス (ダナン)	38.0	☆☆☆	金澤 稔	35.6	45	2010	C
ドルサリス (hiromii)	66.4	☆☆☆☆	飯田浩英	63.4	69	2006	C
ドルサリス (原名亜種)	57.8	☆☆☆☆	中矢賢一	54.2	65	2009	C
トレス (オーストラリア)	42.3	☆☆☆☆	金澤 稔	42.0	47	2007	C
トレス (原名亜種)	43.8	☆☆☆☆	藤原清徳	31.9	47	2021	C
ナタール	48.1	☆☆☆	白石直樹	54.0	55	2009	C
ハスタート (moinieri)	77.5	☆☆☆☆	駒嶋直幸	69.4	82	2006	B
ハスタート (nakagomei)	62.6	☆☆☆☆	mushi_lowkun	52.2	70	2022	C
ハスタート (原名亜種)	77.0	☆☆☆☆	猪飼貴夫	69.4	80	2021	B
パッサロイデス	33.9	☆☆☆☆	金澤 稔	32.3	38	2011	C
ピソニ (cinctus)	79.1	☆☆☆☆	猪飼貴夫	81.5	87	2014	C
ピソニ (hortensis)	62.9	☆☆☆☆	金澤 稔	62.7	67	2010	C
ピソニ (magnifics)	54.3	☆☆☆☆	蘭	57.0	59	2011	C
ピソニ (原名亜種)	72.0	☆☆☆☆	猪飼貴夫	67.0	75	2022	C
ピラギアトウス	48.6	☆☆☆☆	沈志穎	45.0	52	2020	C
ファプリス (takakuwai)	88.8	☆☆☆☆	垣内 力	86.0	91	2013	B
ファプリス (原名亜種)	72.7	☆☆☆☆	遠澤公一	69.3	75	2004	C
ファベール	37.8	☆☆☆☆	中島隆夫	40.1	44	2022	C
フォルフィクラ (原名亜種)	65.0	☆☆☆☆	金澤 稔	78.0	78	2012	C
フォルフィクラ (台湾)	36.5	☆☆☆☆	金澤 稔	62.0	65	2013	C
フラス	52.2	☆☆☆☆	JUN	51.0	57	2018	C
ブッダ (インドシナ〜スマトラ)	58.9	☆☆☆☆	関根達之	53.7	63	2016	C
ブッダ (スラウェシ)	70.6	☆☆☆☆	金澤 稔	69.0	73	2009	C
ブッダ (ミンダナオ)	59.5	☆☆☆☆	猪飼貴夫	53.0	63	2016	C
ブッダ (原名亜種)	53.0	☆☆☆	持田文生	49.1	57	2010	C
ブッダ (中国〜ラオス)	58.7	☆☆☆☆	猪飼貴夫	55.4	61	2019	C
ブッダ (北フィリピン)	59.6	☆☆☆☆	水野真吾	56.8	60	2013	C
フラウイドゥス (ボルネオ)	30.0	☆☆☆	猪飼貴夫	44.8	49	2021	C
フランシス	40.0	☆☆☆☆	持田文生	34.1	43	2009	C
ブルーイン (スライヤル)	38.9	☆☆☆☆	金澤 稔	37.1	42	2012	C
ブルーイン (スラウェシ)	44.7	☆☆☆☆	武田雅生	45.7	48	2014	C
ブルーイン (バツダカ)	51.4	☆☆☆☆	石塚利行	?	55	2015	C
ブルーイン (ベレン)	45.9	☆☆☆☆	春日良太	41.6	50	2015	C
ブルーイン (原名亜種)	51.2	☆☆☆☆	別井敬明	48.2	55	2011	C
フルストルファー (スンバウ)	51.0	☆☆☆☆	藤原清徳	43.3	52	2021	C
フルストルファー (フローレス)	54.3	☆☆☆☆	小杉洋介	53.2	60	2012	C
フルストルファー (原名亜種)	70.5	☆☆☆☆	松田健治	70.3	76	2015	C
ミスティクス (スマトラ・ニアス)	42.8	☆☆☆☆	金澤 稔	43.7	48	2010	C
ミスティクス (マレー)	43.7	☆☆☆	山口陽介	46.2	48	2019	C
ミラピリス	75.9	☆☆☆☆	峰村友一	71.0	76	2014	B
ミルメコレオン	60.1	☆☆☆☆	若園誠至	68.0	73	2006	C
モーニック (原名亜種)	56.5	☆☆☆☆	中矢賢一	59.2	65	2006	C
ラテラリス (bayanii)	59.5	☆☆☆☆	和田政敏	56.0	65	2008	C
ラテラリス (カタンドゥアネス)	60.8	☆☆☆☆	上藤健介	60.4	65	2005	C
ラテラリス (スラウェシ)	61.3	☆☆☆☆	ミッチー	59.0	65	2018	C
ラテラリス (ルソン)	58.0	☆☆☆☆	鄭晟佑	54.2	65	2022	C
ラテラリス (原名亜種)	58.8	☆☆☆☆	中矢賢一	51.0	65	2009	C
ラテラリス (原名亜種)	50.0	☆☆☆☆	藤井宏基	44.0	54	2022	C
ラフェルト	82.4	☆☆☆☆	藤原清徳	81.2	85	2011	B
ラミニフェル	36.2	☆☆☆	金澤 稔	35.3	40	2009	C
ルマウィ	70.7	☆☆☆☆	ブラスマン	70.1	75	2020	C
ロメオ	43.4	☆☆☆☆	江南 隆	48.3	51	2013	C
シカノコギリクワガタ							
キクロマトイデス	64.1	☆☆☆☆	訪 謙二	62.0	69	2017	C
クワンジ	58.4	☆☆☆☆	三浦 徹	56.0	65	2010	C
スベンス (mandibularis)	57.4	☆☆☆☆	洋ちゃん	51.7	62	2019	C
スベンス (原名亜種)	57.3	☆☆☆☆	山口陽介	54.9	62	2018	C
バリ	46.3	☆☆☆☆	猪飼貴夫	44.0	50	2015	C
フォルケブス (ボルネオ)	54.3	☆☆☆☆	金澤 稔	47.2	56	2012	C
フォルケブス (原名亜種)	53.4	☆☆☆☆	橋本 剛	50.0	56	2010	C
ノコギリヒラタクワガタ							
カツラ	51.6	☆☆☆☆	金澤 稔	48.0	55	2010	C
キリベス	45.3	☆☆☆☆	金澤 稔	47.2	50	2007	C
グエラチ	59.0	☆☆☆☆	上藤健介	59.0	63	2005	C

『2010年版 世界のクワガタムシ大図鑑』発行以後に分類が変更された種や新種などの種名に関しては、本誌54号(世界のクワガタ)、75号(世界のミヤマ)、76号(世界のヒラタ)、79号(世界のノコギリ)をご参照ください。

☆の数が多いほど評価が高くなります。

種名	飼育レコード	飼育評価	保持者	野外レコード	予想最大体長	登録年	飼育者数
グラキリス	55.3	☆☆☆	橋本 剛	56.0	60	2011	C
トンキン	58.5	☆☆☆☆	稲垣 正	53.0	63	2019	C
ビデンタートゥス	43.2	☆☆☆☆	松本浩太	46.0	51	2020	C
フタマタワガタ							
アドゥックス (原名亜種)	80.1	☆☆☆☆	峰村友一	77.0	83	2016	C
サヌチ	82.4	☆☆☆	五月女真之	89.0	95	2019	C
ダビン	88.2	☆☆☆☆	松林広高	84.2	95	2010	B
ニグリトウス	85.7	☆☆☆	安部浩平	80.0	90	2012	C
バリ (deyrollei)	87.0	☆☆☆☆	藤川大輔	84.0	90	2019	C
バリ (ボルネオ)	91.7	☆☆☆☆	高井善孝	93.0	96	2017	B
バリ (マレー・スマトラ)	92.1	☆☆☆☆	京四郎	94.4	97	2017	B
ビタリス (tsukamotoi)	89.8	☆☆☆☆	五月女 真之	86.9	95	2021	C
ビタリス (原名亜種)	86.3	☆☆☆☆	福井謙二	87.5	95	2011	C
フォルスター (nyishi)	90.7	☆☆☆☆	A-to	82.9	95	2021	C
フォルスター (ミャンマー)	89.0	☆☆☆☆	谷口繁夫	87.0	92	2014	B
フォルスター (原名亜種)	87.0	☆☆☆☆	峰村友一	86.0	92	2012	B
ブケツ	86.6	☆☆☆☆	安部浩平	88.4	93	2014	C
ホウデン	83.0	☆☆☆☆	中矢賢一	63.0	65	2009	C
ポーリン (バミルム)	86.3	☆☆☆☆	矢島健雄	79.1	90	2020	C
ポーリン (原名亜種)	84.0	☆☆☆☆	五月女真之	83.0	88	2019	C
マンディブラリス (スマトラ)	111.6	☆☆☆☆	小林豊和	118.0	122	2006	B
マンディブラリス (原名亜種)	107.7	☆☆☆☆	関 洋一	112.0	122	2017	C
ムニエフ	82.2	☆☆☆☆	峰村友一	78.0	87	2011	C
メルキオリティス	86.3	☆☆☆☆	峰村友一	85.5	90	2016	C
リノケロス (スマトラ)	103.0	☆☆☆☆	木川康彦	109.0	112	2012	B
リノケロス (原名亜種)	83.3	☆☆☆☆	安部浩平	92.0	102	2016	C
シカクワガタ							
シカ (原名亜種)	60.4	☆☆☆☆	安部浩平	63.0	67	2008	B
シカ (boileau)	70.2	☆☆☆☆	五月女 真之	65.0	75	2022	C
シカ (fukinukii)	65.3	☆☆☆☆	三浦 徹	64.5	69	2012	C
シカ (kawanoi)	61.4	☆☆☆☆	別井敏明	59.5	65	2007	C
シカ (speciosus)	67.4	☆☆☆☆	大平幸治	70.0	75	2013	B
シカ (tsutsui)	72.6	☆☆☆☆	加藤隆行	72.0	77	2017	C
シカ (中国)	60.2	☆☆☆☆	高萩昌利	55.0	65	2007	C
ディティエール	84.3	☆☆☆☆	のーぶる	87.0	90	2008	B
マイ	72.5	☆☆☆☆	五月女真之	62.0	72	2018	C
ウエストウッドオオ (カズミ)	89.0	☆☆☆☆	佐々木大河	82.4	95	2021	C
ウエストウッドオオ (原名亜種)	94.1	☆☆☆☆	m 1905	97.1	102	2016	C
オーベルチュールクワツヤ	62.3	☆☆☆☆	沈志穎	62.0	65	2022	B
チュウゴククワツヤ (原名亜種)	69.0	☆☆☆☆	別井敏明	64.0	72	2008	B
チュウゴククワツヤ (台湾)	65.0	☆☆☆☆	賴逸翰	62.9	70	2017	C
ハロツティ	80.3	☆☆☆☆	小松和文	78.0	85	2012	B
マキ	73.2	☆☆☆☆	安部浩平	74.0	78	2011	B
コクワガタ							
アクソソプシス	33.4	☆☆☆☆	森山保昭	32.0	36	2016	C
アロー (タイ)	71.7	☆☆☆☆	ユーベ@	72.0	77	2007	B
アロー (マクダレイ)	62.7	☆☆☆☆	胡 至翰	60.5	69	2021	C
アロー (原名亜種)	67.6	☆☆☆☆	安田 類	62.0	72	2021	C
アロー (中央ベトナム)	78.0	☆☆☆☆	金森 崇	73.0	83	2017	C
ウスバ (カブリコルナス)	43.8	☆☆☆☆	山本遼介	42.2	48	2018	C
ウスバ (原名亜種)	39.4	☆☆☆☆	金澤 稔	37.1	43	2011	C
エレガントセスジ	40.3	☆☆☆☆	山本遼介	39.3	45	2018	C
エレガントウルス (スマトラ・ボルネオ)	32.5	☆☆	安部浩平	29.4	36	2011	C
カチン	57.0	☆☆	ユーベ@	57.3	64	2007	C
クノ	48.3	☆☆☆☆	ブラスマン	45.7	52	2020	C
クワン	43.3	☆☆	KUWAI	40.3	46	2010	C
サワイ (ベトナム)	48.2	☆☆☆☆	鈴木丈実	46.0	52	2011	C
スジ (中国)	41.8	☆☆☆☆	胡 至翰	37.3	45	2021	C
スツラリス	53.1	☆☆☆☆	上原純一	50.0	57	2011	C
セー	36.6	☆☆☆☆	深町 聡	30.6	40	2022	C
ソン	39.4	☆☆☆☆	ハレ	37.0	44	2021	C
タナカ	49.0	☆☆☆☆	エゾさんしょ	44.0	53	2014	C
チュウゴク (ベトナム)	60.0	☆☆	竹澤 新一郎	63.0	68	2007	C
テヌエコスタトゥス (mochizukii)	38.5	☆☆☆☆	ハレ	38.0	43	2021	C
デリリクトゥス	48.4	☆☆☆☆	ブラスマン	47.0	52	2021	C
ドンキエル (hangpui)	76.0	☆☆☆☆	峰村友一	78.3	85	2011	C
ドンキエル (原名亜種)	78.5	☆☆☆☆	ちやま	79.5	85	2017	C
ネパール	78.4	☆☆☆☆	菊元俊文	80.0	86	2016	C
ハイチュ	64.8	☆☆☆☆	的場英祐	62.0	70	2015	C
ビシグナートゥス	42.0	☆☆☆☆	深町 聡	41.5	46	2021	C
フキヌキ	56.9	☆☆☆☆	ブラスマン	57.5	64	2020	C
フジスジ	49.4	☆☆☆☆	西 孝之	44.2	54	2012	C
プセウダクシス	31.3	☆☆	ちやぼ	32.5	36	2018	C
ブラハウ	65.5	☆☆☆☆	ブラスマン	70.5	77	2022	C
マクレイ	65.5	☆☆☆☆	浅沼 黎	71.3	77	2021	C
メリアナス	37.6	☆☆☆☆	早船時雄	33.1	41	2019	C
メリディオナリス	47.0	☆☆☆☆	竹辺 伸	45.2	51	2021	B
ヤマダ	63.2	☆☆☆☆	ハレ	61.5	65	2012	C
ラディオキナティプス	37.9	☆☆☆☆	佐々木 薫	33.7	42	2020	C

種名	飼育レコード	飼育評価	保持者	野外レコード	予想最大体長	登録年	飼育者数
ルフォノタトゥス (原名亜種)	41.8	☆☆☆☆	早船時雄	38.0	45	2020	C
オオクワガタ							
アンタエウス (インドシナ)	85.7	☆☆☆☆	西山雅	85.5	93	2022	A
アンタエウス (マレー)	83.2	☆☆☆☆	DORCUSMAN	79.0	86	2015	A
アンタエウス (原名亜種)	94.2	☆☆☆☆	野澤良平	88.0	96	2021	A
カミジョウ	75.8	☆☆☆☆	吉田壯志	?	84	2010	C
グランディス (moriyai)	95.0	☆☆☆☆	菅原俊光	91.5	100	2015	A
グランディス (タイワンオオ)	84.3	☆☆☆☆	三枝孝敏	78.3	92	2012	A
グランディス (原名亜種)	87.0	☆☆☆☆	石原雅美	88.5	98	2002	B
グランディス (原名亜種)	87.0	☆☆☆☆	田中直夫	88.5	98	2002	B
クルビデンス (インドシナ)	78.5	☆☆☆☆	金森 崇	77.0	88	2016	B
クルビデンス (原名亜種)	85.6	☆☆☆☆	金井貴雅	81.5	92	2002	B
クルビデンス (南ベトナム)	81.0	☆☆☆☆	金森 崇	75.4	88	2014	B
シェンクリン	89.9	☆☆☆☆	峰村友一	84.0	96	2013	A
スキット	41.6	☆☆☆☆	山村昇市	40.5	46	2010	C
ツノボン (原名亜種)	58.3	☆☆☆☆	山本遼介	58.0	63	2009	B
ツノボン (中国四川(東部)~台湾)	52.3	☆☆☆☆	山本遼介	48.0	55	2017	C
バラレリビデウス	37.5	☆☆☆☆	張維驊	30.0	40	2021	C
バリ (volscens)	76.8	☆☆☆☆	古川 篤	79.0	87	2011	C
バリ (ジャワ島西部)	73.8	☆☆☆☆	古川 篤	71.1	80	2015	C
バリ (スラウエシ島中部)	75.5	☆☆☆☆	嶋田知論	74.4	82	2010	C
バリ (スラウエシ島南部)	65.6	☆☆	上飯健介	59.8	74	2007	C
バリ (タイ・カンボジア)	71.3	☆☆☆☆	青○店長	69.4	77	2013	C
バリ (パラワン島)	75.0	☆☆☆☆	上飯健介	71.7	80	2012	C
バリ (ミンダナオ島)	79.0	☆☆☆☆	高橋勇太	75.3	85	2005	B
バリ (原名亜種)	72.7	☆☆	ドルス好き	73.0	81	2011	C
ホベイ	83.3	☆☆☆☆	須田 国博	78.0	91	2016	B
ムシモン	36.2	☆☆☆☆	松井 誠	24.3	40	2009	B
ヒラタクワガタ							
ヒラタ (ウンナン typhoniformis)	88.0	☆☆☆☆	光田敦一	80.0	94	2022	C
ヒラタ (サマル)	105.7	☆☆☆☆	橋本 浩	98.5	111	2018	C
ヒラタ (スマトラ)	108.8	☆☆☆☆	たくま	102.5	113	2022	S
ヒラタ (ジャワエシ)	106.4	☆☆☆☆	中川元喜	102.0	113	2017	B
ヒラタ (タイワン)	73.7	☆☆☆☆	林子傑	71.2	82	2022	C
ヒラタ (チュウゴク platymelus)	82.4	☆☆	安田将人	86.0	90	2008	C
ヒラタ (ハラワン)	115.3	☆☆☆☆	朽木ハエ	111.3	120	2020	S
ヒラタ (ファソルト fasolt)	87.0	☆☆	今井保祐	84.0	93	2006	C
ヒラタ (フィリピン)	109.0	☆☆☆☆	竹々原 隆一	105.0	116	2019	B
ヒラタ (ベトナム falner)	90.1	☆☆☆☆	今井嶋音	90.0	100	2011	C
ヒラタ (マリンドック)	100.9	☆☆☆☆	藤野航平	94.1	105	2021	C
ヒラタ (マレー・ボルネオ)	95.4	☆☆	江ノ畑 直人	98.0	108	2016	B
ヒラタ (ミンダナオ)	100.8	☆☆	櫻井光一	103.0	114	2007	C
ヒラタ (原名亜種)	95.8	☆☆	Dra-kuwa	99.5	108	2021	C
タイオウ	91.6	☆☆☆☆	渡辺晴夫	90.0	97	2014	A
アーチャーニセヒラタ	59.9	☆☆	D.B-Wood	67.0	73	2010	C
アルキデス	98.3	☆☆	里 由一	104.0	108	2009	A
インターメディウス (pilosipes)	56.9	☆☆	古口翔也	54.6	63	2014	C
インターメディウス (原名亜種)	59.6	☆☆	関 輝之	55.8	65	2008	C
ウィックハム	55.0	☆☆	梅村正信	43.2	60	2010	C
エグレキウス	52.7	☆☆	松本浩太	50.1	58	2012	C
ギリアン	58.1	☆☆	福岡正樹	56.3	64	2011	C
ケルヴルス	54.0	☆☆	本山祐也	55.5	61	2011	C
サイガ	60.5	☆☆	松本茂樹	57.0	66	2008	C
タウネス	63.4	☆☆	松本浩太	61.8	70	2015	C
タウルス (ジャワ)	63.4	☆☆	氏家 森	63.4	71	2017	C
タウルス (タナジャンベア)	57.7	☆☆	末次裕任	44.7	60	2021	C
タウルス (パラワン)	60.1	☆☆	赤枝 黎	58.1	66	2021	C
タウルス (フィリピン)	69.7	☆☆	末次裕任	60.4	74	2022	C
タウルス (ボルネオ)	71.0	☆☆	サマ子	65.3	75	2020	C
タウルス (原名亜種)	64.3	☆☆	深町 聡	64.0	72	2022	C
ダエダリウス	71.5	☆☆	松本浩太	72.0	80	2011	C
チャーユー	44.8	☆☆	ブラスマン	43.5	53	2022	C
チョウセン (中国)	60.4	☆☆	福武峰治	62.4	68	2008	C
ティティウス	73.2	☆☆	加藤拓朗	77.7	84	2018	C
テタニ	57.0	☆☆	安部浩平	54.0	64	2010	C
テルナテ	58.8	☆☆	菊元俊文	55.4	63	2013	C
トラキクス	90.6	☆☆	花房志志	93.0	99	2021	C
バプア	60.3	☆☆	平井 正	59.4	69	2003	C
ハンス	66.2	☆☆	金澤 稔	59.5	70	2013	C
ハンスティン (prosti)	65.2	☆☆	山本祐太	66.4	73	2022	C
ハンスティン (原名亜種)	57.7	☆☆	安部浩平	60.0	68	2022	C
バンダ	42.8	☆☆	わたくわ	23.5	46	2022	C
ヒペリオン (idei)	72.9	☆☆	山本遼介	73.5	78	2005	B
ヒペリオン (アルナーチャル)	64.0	☆☆	門田晃典	63.0	72	2019	C
ヒルティコルニス (雲南 ssp.)	53.8	☆☆	安部浩平	59.0	68	2022	C
ヒルティコルニス (台湾)	37.5	☆☆	松本浩太	42.0	50	2017	C
ミーク (delislei)	63.7	☆☆	余星澄	59.5	67	2021	C
ミーク (jasmini)	54.1	☆☆	上飯健介	50.3	60	2008	C
ミヤマ	58.2	☆☆	柴田尚樹	57.8	63	2007	C
ミラビリス	60.8	☆☆	中矢賢一	54.9	63	2006	C

※亜種名の表記は次の3パターンに分けています。①地域名表記：わかりやすい地域の特産亜種、もしくは地域変異 ②学名のローマ読み表記：その名称で一般的に流通している亜種 ③学名表記：複数の産地にまたがって分布していたり、学名のローマ読みカタカナが一般的でない亜種

飼育者数 SS、S、A、B、Cの順番で飼育者数が多い。SS：日本産オオクワガタのみ。S：かなりの数の飼育者が継続して飼育しているとされる種類。A：半数以上の飼育者が一度は手を出したことがありそうな種類。B：半数以下の飼育者が一度は飼育経験がありそうな種類。C：かきられた数の飼育者しか飼育したことがなさそうな種類。

種名	飼育レコード	飼育評価	保持者	野外レコード	予想最大体長	登録年	飼育者数
ミワ	71.7	☆☆☆☆	Yu Hsuan Chen	72.0	74	2020	C
ユーリケファルス	75.9	☆☆☆☆	安部浩平	78.6	85	2013	C
ラエヴィドリス (カオバン)	74.8	☆☆☆☆	室岡諒	73.0	80	2015	C
ラクノステルス (ルソン)	48.4	☆☆☆☆	深町聡	45.0	53	2022	C
ラマ	79.0	☆☆☆☆	古口翔也	78.0	85	2012	C
ツヤクワガタ							
アルケス	102.3	☆☆☆☆	comrade	104.3	110	2018	C
インビタピリス	36.0	☆☆☆☆	ベニ	35.3	43	2021	C
インベリアリス (原名亜種)	50.0	☆☆☆☆	K. Aikawa	72.3	80	2021	C
カステルナウ (原名亜種)	84.8	☆☆☆☆	安部浩平	94.0	100	2008	C
ガゼラ (原名亜種)	70.5	☆☆☆☆	菊元俊文	65.1	76	2009	C
カメラ	62.5	☆☆☆☆	山口陽介	57.4	67	2014	C
クベラ (fallaciosa)	87.4	☆☆☆☆	鶴岡賢吾	92.7	99	2017	C
クベラ (原名亜種)	76.0	☆☆☆☆	カモ助	76.2	84	2019	C
ケファロテス	44.3	☆☆☆☆	林志勇	43.0	51	2022	C
シバ (原名亜種)	96.6	☆☆☆☆	林志勇	92.8	100	2022	C
シバ (台湾)	92.5	☆☆☆☆	林志勇	90.0	96	2015	C
スティープンス (サンギール)	86.0	☆☆☆☆	岩井哲矢	90.3	98	2022	C
スティープンス (原名亜種)	84.4	☆☆☆☆	安部浩平	91.4	98	2017	C
ストリアータ	52.6	☆☆☆☆	クワガタ依存症	53.0	59	2021	C
スベッタピリス	77.0	☆☆☆☆	里由一	82.0	89	2010	C
ダールマン (インターメディア)	105.2	☆☆☆☆	Kabi	107.0	112	2015	C
ダールマン (セレベンシス)	93.2	☆☆☆☆	菊元俊文	89.3	99	2015	C
ダールマン (ルディカ)	88.8	☆☆☆☆	kabi	78.8	95	2021	C
ダールマン (原名亜種)	77.8	☆☆☆☆	菊元俊文	82.0	90	2013	C
デレセル	88.6	☆☆☆☆	浅井敏弘	81.5	92	2008	C
フェモラリス (ボルネオ)	86.0	☆☆☆☆	後藤諒	95.9	102	2021	C
フェモラリス (原名亜種)	92.2	☆☆☆☆	佐々木大河	93.2	99	2022	C
プラチノータ (coomani)	46.4	☆☆☆☆	あら	45.3	53	2017	C
ブルーク	42.5	☆☆☆☆	井上健次	52.9	58	2022	C
ブルイスター	109.9	☆☆☆☆	林志勇	105.0	112	2016	B
ペリコサ	88.4	☆☆☆☆	安部浩平	94.0	101	2013	C
ベルシコロール	77.6	☆☆☆☆	飯田浩英	76.4	84	2010	B
ボレンホーベン	78.0	☆☆☆☆	岩井哲矢	86.0	92	2021	C
ミクロス	42.5	☆☆☆☆	菊元俊文	46.0	53	2010	C
モウホ (エレガンス)	79.3	☆☆☆☆	劉政潔	75.4	87	2016	C
モウホ (原名亜種)	84.2	☆☆☆☆	安部浩平	74.3	87	2013	C
ラコルデル	88.5	☆☆☆☆	0412	90.0	97	2020	B
ラティベニス	65.5	☆☆☆☆	安部浩平	80.8	87	2015	C
リュートネル	59.6	☆☆☆☆	K. Aikawa	78.3	86	2022	C
ルデキン	81.3	☆☆☆☆	里由一	74.6	85	2010	C
ワラストン	78.7	☆☆☆☆	菊元俊文	79.1	85	2013	C
オウゴンオクワガタ							
ババ	83.4	☆☆☆☆	石原昇三	80.0	87	2008	A
フルストルファー	55.0	☆☆☆☆	松山真樹	57.1	63	2017	C
モーレンカンブ	65.3	☆☆☆☆	井上健次	68.0	75	2022	B
モゼリ	80.6	☆☆☆☆	まー	80.8	87	2022	A
ローゼンベルグ	80.3	☆☆☆☆	穴倉裕之	83.0	90	2008	A
ミヤマクワガタ							
アングスティコリス	70.2	☆☆☆☆	山口陽介	80.7	86	2016	C
ウェスターマン	43.0	☆☆☆☆	守屋智津留	57.7	60	2007	C
ヴェムケン	62.4	☆☆☆☆	J兄	57.5	67	2021	C
エラフス	67.2	☆☆☆☆	山本武博	63.3	69	2009	B
カブレオリス	42.0	☆☆☆☆	井澤秀一郎	42.0	49	2005	C
カンター (原名亜種)	69.5	☆☆☆☆	山下修一	90.0	95	2022	C
クラーツ (ベトナム)	62.7	☆☆☆☆	塚原利昌	71.0	78	2013	C
クラーツ (原名亜種)	69.0	☆☆☆☆	佐々木薫	69.5	76	2020	C
クワイロ (原名亜種)	55.0	☆☆☆☆	井澤秀一郎	57.0	64	2012	C
クワイロ (台湾北部)	57.1	☆☆☆☆	沈志穎	57.0	62	2021	C
クワアシ (台湾南部)	53.4	☆☆☆☆	許智穎	46.0	58	2022	C
クワアシ (原名亜種)	46.4	☆☆☆☆	長谷川和利	43.0	51	2005	C
ゲアン (コンツム)	57.7	☆☆☆☆	古口翔也	60.3	65	2012	C
シセン	50.3	☆☆☆☆	佐藤和男	54.0	60	2015	C
セリケウス (原名亜種)	74.5	☆☆☆☆	上野浩樹	79.5	86	2008	C
タイワン	79.8	☆☆☆☆	張維驊	85.0	91	2017	C
タカクワ	47.8	☆☆☆☆	齊藤 巧	50.7	58	2019	C
タカサゴ	85.3	☆☆☆☆	林傳盛	87.0	91	2018	C
ダビティス	38.6	☆☆☆☆	齊藤 巧	36.0	42	2019	C
チベット (ベトナム)	77.8	☆☆☆☆	熊田貴志	80.7	89	2013	C
チベット (ミャンマー)	69.1	☆☆☆☆	穴倉裕之	80.0	86	2008	C
チベット (原名亜種)	71.7	☆☆☆☆	熊田貴志	72.9	78	2013	C
チョウセン	71.2	☆☆☆☆	井澤秀一郎	68.3	76	2014	C
テトラオドン (シチリア)	52.3	☆☆☆☆	齊藤 巧	44.0	55	2022	C
テトラオドン (南フランス)	54.8	☆☆☆☆	井澤秀一郎	50.0	58	2012	C
ドン	79.6	☆☆☆☆	大原暁雄	82.6	95	2018	C
ナンサー	73.2	☆☆☆☆	齊藤 巧	78.0	85	2018	C
ノビリス	67.0	☆☆☆☆	ブラスマン	69.8	76	2022	C
ハヤシ	71.2	☆☆☆☆	長谷川雄治	72.5	77	2010	C
バリー	48.4	☆☆☆☆	五月女 真之	48.2	54	2021	C

種名	飼育レコード	飼育評価	保持者	野外レコード	予想最大体長	登録年	飼育者数
ババロバッサ	47.5	☆☆☆☆	井澤秀一郎	48.0	54	2014	C
パン	43.3	☆☆☆☆	伝	41.0	48	2021	C
ビクトリス	67.5	☆☆☆☆	五月女 真之	66.5	75	2020	C
ピタリス	73.3	☆☆☆☆	齊藤 巧	81.4	88	2018	C
ヒメ (原名亜種)	55.8	☆☆☆☆	五月女 真之	54.0	60	2022	C
フォーチュン	53.6	☆☆☆☆	海友	55.2	63	2019	C
フォルモス	53.5	☆☆☆☆	木川康彦	55.4	63	2016	C
ブシグニー	49.0	☆☆☆☆	クレナータ	53.5	59	2021	C
フジタ	59.5	☆☆☆☆	佐々木薫	63.5	72	2022	C
フライ	72.2	☆☆☆☆	井澤秀一郎	76.0	81	2014	C
フライ (アルナーチャル)	76.8	☆☆☆☆	熊田貴志	80.8	85	2016	C
ブラネット	89.6	☆☆☆☆	北垣 毅	90.0	96	2020	C
ブロス	58.0	☆☆☆☆	熊田貴志	67.0	74	2021	C
プロメテウス	42.5	☆☆☆☆	伝	36.1	45	2021	C
ヘルマン	92.1	☆☆☆☆	森下 整	92.0	99	2010	C
ホウライ	52.3	☆☆☆☆	瀬逸翰	45.0	56	2015	C
マザマ	42.5	☆☆☆☆	井澤秀一郎	37.0	47	2014	C
マラツツイ	55.2	☆☆☆☆	齊藤 巧	63.5	72	2022	C
ミシユミ	73.8	☆☆☆☆	井久保 伶	70.0	74	2021	C
メアレー	74.1	☆☆☆☆	藤井信也	77.4	82	2006	C
ヨーロッパ (アクベシアヌス)	105.0	☆☆☆☆	Kenny	100.0	108	2022	A
ヨーロッパ (トルキウス)	76.0	☆☆☆☆	クレナータ	77.0	87	2021	C
ヨーロッパ (ユダイクス)	104.8	☆☆☆☆	山下修一	100.2	108	2017	A
ヨーロッパ (原名亜種)	93.6	☆☆☆☆	田野倉 浩明	90.0	98	2012	A
ラエトウス	54.9	☆☆☆☆	春日良太	53.0	59	2011	C
ラディコリス	49.8	☆☆☆☆	mushi_lowkun	62.7	68	2022	C
ラミニフェル (原名亜種)	84.1	☆☆☆☆	寺田智晃	85.2	92	2021	C
ラン	61.8	☆☆☆☆	齊藤 巧	63.4	70	2020	C
ルック	61.7	☆☆☆☆	塚原利昌	69.5	75	2013	C
ルニフェル (原名亜種)	85.6	☆☆☆☆	山下修一	84.3	89	2019	C
レスネ	37.6	☆☆☆☆	カモ助	39.5	46	2021	C
ロンド	59.7	☆☆☆☆	J兄	52.6	67	2021	C
ネプトクワガタ							
アクミナートゥス (ジャウ)	38.7	☆☆☆☆	金澤 稔	36.6	44	2009	C
アクミナートゥス (原名亜種)	40.2	☆☆☆☆	竹辺 伸	41.0	47	2021	C
インブリカトゥス	37.4	☆☆☆☆	竹辺 伸	38.0	44	2020	C
インプレシコリス (patrici)	33.5	☆☆☆☆	エゾせんじよ	31.4	38	2013	C
ウッドフォード	41.1	☆☆☆☆	大島成生	40.0	46	2011	C
ウッドフォード	42.2	☆☆☆☆	ブラスマン	40.0	46	2020	C
クーラン	64.5	☆☆☆☆	金子明裕	73.5	78	2017	C
グランディス	55.4	☆☆☆☆	金澤 稔	56.0	62	2010	B
チェリフェル (原名亜種)	37.4	☆☆☆☆	竹辺 伸	39.5	45	2021	C
バラレルス	52.2	☆☆☆☆	室井良一	54.9	60	2002	C
フィリピン (banggaiensis)	41.5	☆☆☆☆	竹辺 伸	30.1	44	2021	C
フィリピン (原名亜種)	32.1	☆☆☆☆	竹辺 伸	30.0	44	2019	C
フォルニカートゥス	48.1	☆☆☆☆	藤岡貴之	53.0	57	2021	C
プラティオドン (leopoldi)	56.8	☆☆☆☆	花房高志	54.5	62	2021	B
プラティオドン (原名亜種)	57.3	☆☆☆☆	橋本 剛	49.6	62	2011	B
ブンクティラックス	33.9	☆☆☆☆	竹辺 伸	30.0	40	2022	C
ブンクティベニス	47.6	☆☆☆☆	藤岡貴之	48.7	55	2022	C
マラバ	40.7	☆☆☆☆	藤岡貴之	37.7	44	2020	C
マレット	33.5	☆☆☆☆	藤岡貴之	32.5	38	2022	C
ミンダナオ	39.8	☆☆☆☆	竹辺 伸	40.0	45	2022	C
ヤンソン	35.9	☆☆☆☆	藤岡貴之	44.0	48	2021	C
ラピリス	46.9	☆☆☆☆	ブラスマン	52.0	57	2021	C
リュウウェン	46.5	☆☆☆☆	藤岡貴之	48.4	54	2022	C
ロンドン	38.8	☆☆☆☆	飯田浩英	28.9	41	2016	C
その他のクワガタ							
ニジイロ	68.6	☆☆☆☆	森下 雄貴	70.0	73	2020	S
ラトレイクキンイロ	40.6	☆☆☆☆	だいむし	38.2	43	2020	C
ババキンイロ	54.9	☆☆☆☆	林田成弘	54.0	58	2016	S
ドワイロ	37.0	☆☆☆☆	橋本 剛	32.6	42	2011	C
チリハネナシ	32.8	☆☆☆☆	金澤 稔	30.7	36	2009	C
アンダマンカギツノ	48.4	☆☆☆☆	金澤 稔	49.3	50	2012	C
オバクソリアシサビ	35.5	☆☆☆☆	寺澤一輝	37.1	42	2022	C
ヘキロクオニ	31.6	☆☆☆☆	瀬逸翰	24.5	34	2017	C
タランドゥスオオツヤ	94.5	☆☆☆☆	タフィ	93.0	98	2022	A
レギウスオオツヤ	96.4	☆☆☆☆	陳威麟	93.0	100	2019	A
アザンブレクビソツヤ	46.7	☆☆☆☆	林俊介	45.0	54	2019	C
スティンヘイルクビソツヤ	49.2	☆☆☆☆	STORIA	57.4	66	2019	C
コガシラ	81.4	☆☆☆☆	92F	90.0	95	2011	C
フェイスタルシワバネ	62.6	☆☆☆☆	今西康仁	76.4	85	2022	C
アカマルバネ	45.4	☆☆☆☆	藤岡貴之	53.6	58	2021	C
ドロマルバネ (原名亜種)	46.1	☆☆☆☆	瀬逸翰	42.1	49	2019	C
バラデバルバネ	67.0	☆☆☆☆	片岡辰太	71.7	75	2012	C
ベラルマツマルバネ (中国)	74.3	☆☆☆☆	大島成生	78.6	85	2007	C
マエダマルバネ	70.8	☆☆☆☆	里由一	73.0	77	2011	C
マキシムスマルバネ (原名亜種)	72.0	☆☆☆☆	鶴岡賢吾	74.0	78	2016	C
グラディアルムンガタ	60.1	☆☆☆☆	中井良一	58.0	65	2009	C
メリーメンガタ	58.5	☆☆☆☆	早船時雄	53.6	63	2004	A

●変更のご案内  
 読者の方より「81号で更新されたヒマラヤクワガタは、ビシグナートゥスクワガタではないか？」と指摘があり、当方もそれを確認したため、81号で更新されたヒマラヤクワガタ(申請者:深町聡様)をビシグナートゥスクワガタといたしました。同時に、これまでに記録されていたビシグナートゥスクワガタ(申請者:NAO様)より深町聡様の個体の方が大型のため、記録を上書きさせていただきました。